

趣旨説明

キヤノングローバル戦略研究所 研究主幹
芳川恒志

2016/6/21

第1回 CIGS 原子力と法ワークショップ 「原子力を巡る最近の国際潮流」

2016年度の活動と 本ワークショップの位置づけ

① これまでの成果を評価

- ・他の研究機関等の成果の評価の仕方等を参考
- ・日中交流事業等継続すべきものは継続
- ・アジアのエネルギー研究を開始

② 地球温暖化に関する研究--COP21等最近の進展をベースに

- ・技術革新が中心テーマ
- ・技術面で実力のある少数国によるプロセス

③ 「原子力と法」

- ・科学技術と法制度のあり方
- ・将来の投資を確保

2017年以降

- エネルギー・環境・資源に関するCIGSの研究を一定の枠組みで再構成し、全体の骨太化を図る。
- 研究に伴う人材育成面での波及も考慮。